2022年2月5日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第11章11～20節

・引用：第9章－18節、第4章―3節、第11章－41節

おはようございます。

今日はサラスワティ女神、弁天様の礼拝の日です。インドはその日、勉強しないでお休みですけど我々は勉強しています。

朝、協会で少しだけアラーティありました。マザー・サラスワティの写真を飾ってお供えをして、お下がりを持ってきましたので、後で皆さんにお渡しします。

それから前回の話は何でしたか？　ブラフマンについて、9章の18節を説明しています。

9章18節　117ページ



ガティル　バルター　プラブフ　サークシー　ニヴァーサハ　シャラナン　スフリト/プラバヴァハ　プララヤハ　スターナン　ニダーナン　ビージャム　アッヴャヤム

*私は全ての最終目的であり、保護者であり、主であり、目撃者である。また全ての住処、避難所、友人でもある。さらに私は全ての起源であり、消滅であり、基礎であり、宝庫であり、そして不滅の種子でもある。 //9-18*

**最終目的　ガティル **

ガティルは、最後の目標、最後の目的だと前回説明しました。

**保護者　バルター **

バルターは、養っています、支えています、サポートするという意味です。どのように？

例えば風、空気、水、光、土地など、自然は我々をいろいろサポートしています。海や川の魚を毎日たくさん食べると頭がよくなります。「さかな、さかな、さかな、さかなを食べると、頭がよくなる」という歌知っていますね？　神様は、魚もたくさん準備しています。

Mさん（※欄外①参照）は「我々は神様の子供ですから、水は母なる神様の母乳です」と言っていました。

母乳は子供たちを育てます。お母さんは「私は子供を愛しています」と考えますけど、本当は子供たちを育てるために、神様は最初から、お母さんの中に神様の愛を入れています。

**主　プラブフ **

プラブフ：持ち主の持ち主、主人の主人は神様です。家族だったら主人です。

**目撃者　サークシー **

サークシー：傍観者。前回１つ例を使いました。４人の弟子に果物を渡して、誰も見えないところで食べてくださいと。1人は洞穴、1人は富士山の上、もう1人は誰もいない、獣もいない野原で食べました。ですけど1人だけ食べることができなかった。なぜなら、神様は遍在でどこでもいますから。先生はそれを理解しているかテストしたかった。３人は、勉強しても理解していなかったのですが、１人だけ、本当に理解していたので食べることができませんでした。

日本語で１つことわざがあります。「なにもかも、お天道様がお見通し」です。みなさん知ってますか？　サンスクリットでも似た例が１つあります。ヴェーダンタ協会で朝に唱えるチャンティング「シャンティ マントラ」の３番に、このことわざと同じ内容があります。

svasti nah pusha vishvavedah：スヮスティ ナー プーシャ　ヴィシュヴァヴェーダーハ

プーシャー：太陽神

ヴィシュヴァヴェーダーハ：神様は全部知っているという意味 （※欄外②参照）

**住んでる場所　ニヴァーサハ **

ニヴァーサハ：住んでる場所。ミクロレベルとマクロレベルがあります。

ミクロレベルで自分の住んでる場所。マクロレベルで太陽、月、宇宙です。

そして、すべてのものは神様のものです。

たとえば、ラーマクリシュナの福音の中に「神様は二回笑っています」という話があります。

（「ラーマクリシュナの福音」P289 下段L13）

１つ目は、二人の兄弟が土地を分けるのに「この土地は私のもの」と喧嘩している話。

もう一つは、子供が病気のとき、お医者さんが「子供を直してあげます」と言う話です。

（神がその子を死なせようと思っておいでになるなら、だれもその子を救うことはできない。）

神様は笑っています。全部私（神）の土地です。すべての場所が私（神）の場所ですから。

人間は一時的にレンタルしてます。本当の持ち主は神様です。みんな一時的にレンタルしているだけです。ですけれども、我々はエゴがあって無知の影響で、「私が持ち主」だと思っています。死んだ後、火葬場に入るとき、建物を持っていく事ができますか？　火葬場はあなたが入る場所だけあります。「私の場所、私の土地」と、どうして言っていますか？　すべてレンタルです。みんなお客様で、ホテルのようです。お客様は部屋を借りるためにチェックインして、またチェックアウトします。

**避難所　シャラナン **

シャラナン：避難所。「ラーマクリシュナ　シャラナン」の賛歌を聞いたことありますか？

（※欄外③参照）シャラナンの日本語はシェルター、避難所です。ラーマクリシュナは避難所です。普通皆さんのシェルターのイメージは何ですか？　例えば、津波のためにあちこち高いところに避難所を作っています。5ｍ、7ｍ，10ｍと、あちこちどのくらい高いか海抜が書いてあります。

もし、心の中に津波が起こったらどこに行きますか？　津波の波はとても大きくないですか？

逃げられないです。

心の津波はもっと大変で、逃げる場所ないです。津波のための避難所に走って逃げますか？

すると、心も一緒に行きます。離れることはできないです。

ではどうしたら良いか考えてください。我々は時々、否定的、衝動的、人間関係、仕事、自分の身体のことなど、いろいろな原因で問題が起こり、とても大変です。

そして心に津波が起こった時、避難所はどこですか？　神様です。苦しい時の神頼みは、一時的に助けることはできます。

その避難所をつくるために、大事な実践は何ですか？

いつも避難所は市役所が作ります。そして普通は避難所に行かないです。津波の時はみなさん避難所に行きますが、普通遊びに行くことはありません。ですから「神様が避難所」の意味は、「困ったときだけはなく、困ってないときも神様のことを考える」ということです。苦しいときだけ助けるのが神様ですか？　毎日の生活のとき、神様は関係ないですか？

普通我々には、友達います、親戚います、家族います。ですけれども、みんな現れては消えます。いなくなります。昔のことを考えてみてください。あなたは子供のときから今まで、たくさんの人と友達になって、仲間もたくさんできた。でもその皆さんはどこですか？

今、お芝居のセットが前のものと違います。あなたのまわりの現代のセットは永遠ですか？

－それも消えます。そして、そのことをいつも思い出してください。

「神様、あなただけが私の永遠の避難所」です。

良い日も悪い日も、楽しい時も苦しい時も、他の方は現れてはいなくなります。ドラマや劇のように、自分のパートが終わると、また新しいパートが来ます。そして「シャラナン」がその意味です。苦しい時だけをイメージしないでください。神様は永遠の避難所です。いつも神様だけを考えてください。奥さんも旦那さんも仲間も、サポートには限度があって、いつもできません。ですから、どんな時もサポートしてくれる本当のシェルター、避難所は神様です。

その意味でシャラナン。シュリー・ラーマクリシュナはブラフマンと言っています。

その関係で、神様に私の身体、心、知性、家族、全てを捧げます。

それから例えば、時々お母さんは怒って、子供を叩くことがあります。でも子供たちは、泣きながらまたお母さんのところに行きます。別のお母さんのところには行かないです。

それと同じように、神様は我々の願いを満足させない可能性も絶対あります。

ですけれども神様は私の避難所です。そうしないとバーゲンみたいです。

例えば、シュリー・ラーマクリシュナは言いました。福音の中にあります、猫と子猫の話。

お母さん猫は、子猫を台所、床、あちこちに置いています。子猫は向こうでずっとお母さんを待っています。子猫はミューミュー鳴くだけです。（ラーマクリシュナの福音P10 上段L19）

福音の中に何回もその例があります。

その意味で、たくさんの賛歌の中にシャラナン、避難所のアイデアが入っています。

シャラナンは口で言うだけではなく、いつもイメージしてください。

（マハーラージが賛歌「ラーマクリシュナ・シャラナン」をお歌いになる）※欄外③参照

今は皆さんいますけど、一時的です。心の津波が起こったとき、友達、お母さん、お医者さん、誰も助けることはできません。心の火山が爆発したとき、薬を飲むと結果として鈍くなります。イメージしてください。神様はシャラナン、避難所です。深い意味でしょう？

我々は、いつ普通の状態から大変な状態になるのか、全然わかりません。誰にもわからない。

**スフリト **

翻訳しますと「友達」です。バガヴァッド・ギータの中に４つの言葉を使っています。

**** スフリト

Mitra　 ミットラ

Bandhu　ボンドゥ

 サカー

日本語で「友達」と同じような表現は、仲間、友人、親友などありますが

サンスクリット語の「友達」は４つあります。みんな別々で、表現が豊かです。

アルジュナとクリシュナの関係は、バガヴァッド・ギーターで何を使っていますか？

サカーです。アルジュナとクリシュナは、同じ存在が１つになった「１つの魂」、そのくらい近い親しい関係です。

１１章４１節を読んでください。

***あなた様のこの偉大さを知らず、うかつにも親しみの余り、ただの友人と思いこんで、私は、あなた様のことを「クリシュナとか、ヤーダヴァとか、友よ」などと無遠慮に呼んでおりました。//11-41***

アルジュナはシュリー・クリシュナに、「あなたの宇宙的な姿を見せてください」と頼みました。それで、シュリー・クリシュナは自分の宇宙的な形を見せました。でもアルジュナはとても怖かった。なぜなら、シュリー・クリシュナは人間の形ですけど、本当は神様です。アルジュナは、シュリー・クリシュナが人間の形なので、親しい友だちの「サカー」と呼んでいました。

あるとき友、あるとき友人、翻訳のときいろいろ使っていますが、ここではサカーです。

本当はその友達（クリシュナ）は神様ですが、ときどき私（アルジュナ）はあなたをからかいましたので、今は全部許してください。―もう1回思い出しました。

サカー以外に、スフリト、ミットラ、ボンドゥにも特徴がありますが、今日はそこまで説明しません。全部「友達」です。

それから、なんのイメージで神様はスフリト（友達）ですか？　一番偉大なレベルのスフリトは、我々が普通の状態、大変な状態、喜びの状態、楽しみの状態、どんな状態の時もいつでも一緒にいます。私から離れません。

そして、その方の前では、私はなんでも全部話すことができます。他の人には、恥ずかしいことは遠慮して言わないです。絶対ガードします。自分のお母さん、お父さんにも、子どもの時はなんでも言いますけど、だんだん大きくなりますと区別します。一番近い友達にも全部は言わないです。

ですけれども、神様には、自分の間違ったこと、恥ずかしいこと、なんでも全部言います。

「神様の前ではなんでも率直に言ってください」という助言ありませんか？

神様は一番近い方ですから、その感じでスフリトです。

それから、我々の僧院の結構上の、ある若いお坊さんの話があります。その方の仕事は、いろいろ間違いを注意したり、何をするかをいろいろ決める、そういう種類の仕事でした。その方は、とても高いレベルの学者で、お坊さんでした。そしてその方の中は、カルマ、ギャーナ、バクティ、ラージャの４つのヨーガが本当に調和していて、皆さんとっても尊敬していました。

あるとき、若いお坊さんが言いました。「ときどき我々は間違いを犯しますけど、あなたに率直にいうことはできないです。１つは怖いですし、恥ずかしい気持ちもあります。でも自分が過ちを犯すと、心の中に結構後悔が出ています。心の中に棘みたいにささって思い出しますが、あなたに言うこともできないし誰かにシェアすることもできません。どうしたらよいですか？

アベーダーナンダジの助言は、「あなたは、ベルール・マトの本部にあるマザーのお寺に行って、マザーに率直に言ってください」でした。そうしますとマザーは許してくれます。

許してくれなければどうしてお母さんですか？　叔母さんではない、お母さんですから絶対許してくれます。我々は過ちを犯すことがありますけど、スフリトは、いつも我々に同じように接してくれて、なにも気にしません。

それからスフリトは、我々のすべての感情をシェア、共有して、サポートしてくれます。

それだけでなく、あなたのためにいつも助言します。その意味で神様はスフリトです。

良い時も悪い時も、どんな時もいつも一緒にいてくれて、なんでも率直に言える友。

一番偉大な友が、神様です。

**源　プラバヴァハ **

プラバヴァハ：源。神様は我々の源です。マクロレベル、ミクロレベル、どちらの見方でも源です。何故ならこの宇宙は神様から出ました。我々は宇宙の一部分ですから、すべての生き物という意味でも、神様は我々の源です。すべての物、すべての動物、木、太陽、月、全部神様から出ました。

**破壊　プララヤハ　スターナン **

プララヤハ　スターナン：破壊する。インドの別の考えで「溶ける」です。

われわれ人間は、みんな最後には溶けます。意味は、粗大なものは精妙のものになります。

精妙なもの、もっと精妙なもの、その種類の場所も神様です。そして神様から出て、神様に戻ります。戻る場所も神様です。インド哲学の中には、「創造・維持・破壊」の「破壊」のイメージはないです。戻るのは破壊の場所です。

**富　ニダーナン **

ニダーナン：とても高いもの、とても高い富。それを置く場所、それが神様です。

１０章に書いてあります、「すべての偉大なものの中で、1番よいもの」は神様です。

1番高いものを置く場所の意味です。

面白いのは、「創造、維持、破壊」というサイクル（周期）です。―この１つのサイクルが終わる「破壊」の後、みなさん生き物は、自分のカルマの結果を全部経験しないといけない。

また生まれないといけない。

1つのサイクルが終わったら、その時どうしますか？

すべての生き物のカルマは、とても精妙になって種のようになります。

そしてそれを置いておく場所は、神様です。

前のサイクルと次のサイクルの間、みなさんのカルマの結果は、神様に置いています。

次のサイクルのとき、その場所から出ます。そしてまた続いて、生まれます。

そうしないと終わらないです。

サイクルが終わっても、みんな解脱できません。

**不滅の種　ビージャム　アッヴャヤム **

ビージャム：宇宙の種。「破壊」のとき、１つは全部種になって、その種はなくなりません。

普通の種は燃やすとなくなりますが、宇宙の種はなくならないで、とても精妙になります。

神様からプラクリティがでます、プラクリティから宇宙がでます。

アッヴャヤム：不滅。形容詞です。「アッヴャヤム」の反対は「ヴャヤム」です。

宇宙の永遠の種は神様です。これはとてもとても大事なブラフマンについてのイメージです。

自分の決めた神様で構いません。

それから、神様の化身と神様は一緒です。

本当はラーマクリシュナの本性はブラフマンです。ブラフマンの現れがラーマクリシュナです。ラーマクリシュナについても同じ、クリシュナも同じ、姿だけ違いますけど、本当は同じブラフマンの１つの現れです。

以上

※① Mさん：ラーマクリシュナの福音の著者、マヘンドラナート・グプタ氏のこと。

福音の中で自身のことを「M」と表記していた。

※② シャンティマントラ 3番

 ／

 ／

 ／ ／

 ／ ／

 ／ ／

（日本語訳）

おお神々よ、どうぞ私たちの耳が善い事を聞く耳でありますように。

敬慕すべき方々よ、どうぞ私たちの目が、善いものを見る目でありますように。

どうぞ私たちがあなた方への讃歌を歌い、健康で丈夫な体で、神々から授かったこの人生を

楽しむ事が出来ますように。

ヴリッダスラヴァー神、インドラ神が、私たちに恵み深くあられますように。

全知のプーシャー（太陽神）、宇宙の維持者が、私たちに恵み深くあられますように。

悪を滅ぼすタールクシャ（ガルダ）が、私たちに恵み深くあられますように。

祈祷の主であるブリハスパティが、私たちにお恵み深くあられますように。

オーム。平安あれ、平安あれ、平安あれ。

※③♪賛歌「ラーマクリシュナ　シャラナン」歌詞

＊Ramakrishna sharanam(3) sharanye

Prabhu(1) kripahi kevaram(3) sharanye

Prabhu(1) sharanagatoham(3) sharanye

Namo Shri Gurave(3)namo namah

Ramakrishna(2) jaya jaya Ramakrishna

Ramakrishna(2) jaya jaya Ramakrishna

Ramakrishna(2) jaya jaya Ramakrishna

おおラーマクリシュナ！私の唯一の避難所、私はあなたに避難します。

おお主よ！　あなたの恩寵は私の唯一のよりどころ私はあなたに避難します。

おお主よ！　私はあなたの召使いです、私はあなたに避難します。

おお主よ！　くり返し、くり返し、あなたにおじぎします。

おおラーマクリシュナ！　あなたに勝利あれ！　あなたに勝利あれ！

協会出版のCD「Sri Ramakrishna Arati」の8曲目に収録